

高齢者サロン参加者、ボランティア、一般住民の健康指標等の比較 サロンの効果的な運営のための基礎資料作成に向けて

研究分担者 泉田信行（国立社会保障・人口問題研究所 室長）
野口晴子（早稲田大学政治経済学術院 教授）

【研究要旨】

目的：A市にて実施されている高齢者サロン事業への参加者の参加継続状況やボランティアも含めた健康状態についての基礎的な情報を明らかにすること

方法：2010年度から2013年度のサロン事業利用者・ボランティア参加者データを単体で用いて参加の状況を明らかにするほか、2013年に調査実施されたJAGESデータを接続キーで連結してサロン参加者・ボランティア以外のJAGESデータのその他の調査対象者と各種健康指標を比較した。

結果：サロン事業利用者の参加継続率は年々高まっていた。当初の参加継続に地区差があり、低位の地区の参加継続率が改善する形で参加継続率が高まっていた。

サロン事業利用者・ボランティア参加者、その他の調査対象者において、主観的健康観では大きな差は見られなかった。ボランティア参加者は健診受診率が他の3群よりも相対的に高いなど健康意識が高かった。ボランティア参加者は転倒経験のある者がいないにもかかわらず、転倒に対する不安が高かった。サロン参加者はサポート資源として配偶者を頼れず、同別居の子どもに依存していることや、認知機能や精神的な状態に課題を抱えている割合が高い可能性も考えられた。

考察・結論：参加者、ボランティアについてはJAGESデータと接続できたサンプルサイズが小さかったため、その他調査対象者との比較結果の確定的な解釈を行うことは避ける必要がある。

サロン参加者よりもその他の被調査者（一般の高齢者住民）の方が日常生活機能が維持されている場合があった。横断面データであるため、これを以てサロン参加者の機能維持について断言することはできない。逆に、日常生活機能が低下している者を集めているという観点からは施策として成功している可能性も考えられた。認知機能や精神的な課題を抱えているサロン参加者の割合が高かったことは今後同市のサロンで提供されるべきものについて示唆を与えると考えられた。サロンの効果的な運営のためには、サロンを運営する側であるボランティアの参加意図や背景についてさらに深く検討することが必要であると考えられた。これらの観点から今後同市のサロン事業の有効性を検証しようとするならば、サロン事業の目的に応じて健康などの指標を継続的に測定し、分析結果を活用していくことが重要であり、今回の調査参加をきっかけに継続的にJAGESの調査を採り入れていくことは同一個人についての経年比較を可能にするため、有効な方法であると考えられた。

A. 目的

平成24年度に導入された介護予防・日常生活支援総合事業は市町村の任意事業となっているが、制度の見直しにより全ての市町村で実施されるこ

ととなっている。この新しい総合事業によるサービスは「多様な主体による多様なサービスの提供を推進」とされている。いわゆる「高齢者サロン事業」も総合事業の中に含まれることになると考え

られるが、公費を投入して運営される以上、効果測定を行うことが望まれる。

今回、JAGES の新規の調査対象市町村となった A 市の高齢者サロンの参加者とサロンの運営に関わるボランティア、その他の高齢者（JAGES の被調査者）について健康指標などを比較することが、横断面データではあるが、可能となった。そこで、同市のサロンの参加者の特徴を記述的に描写することによりサロンの今後の在り方について検討する。

B. 方法

まず、2010 年度から 2013 年度のサロン事業利用者・ボランティア参加者データを単体で用いてサロン事業利用者のサロン参加の状況を記述的に明らかにした。次に、2013 年に調査実施された JAGES データをサロン事業利用者・ボランティア参加者データに接続キーで連結した。これにより、サロン参加者・ボランティア、それ以外の JAGES データの調査対象者について、各種健康指標や社会関係性の指標を比較することが可能となった。分析方法は記述的な方法によった。

C. 結果

サロン事業利用者・ボランティア参加者のうち、JAGES データとマッチングできたのは 18 サンプルであった。表 1 は性・年齢階級別に見たサロン事業利用者・ボランティア参加者の状況である。2010 年度から 2013 年度のサロン事業参加者を含んでいるが、複数年参加している参加者の重複は排除している。参加者が最も多いのは 75 歳以上 85 歳未満の階層であった。ボランティアについては 65 歳以上 75 歳未満の階層の者が最も多かった。男性の参加者割合は合計で 21.6%であった。表 2 は念のため 2013 年度に参加者を限定して分析したものであるが、結果は同様であった。表 3 は年度別に性別参加者数を見たものであるが、女性参加者数は年々着実に増加していることがわかる。

参加者数の増加は前年度に参加していた者が次

年度も引き続き参加する割合（継続参加率）が高まっていることにもよる（表 4）。これは地区別に見ると、M4、M5 元両地区の継続参加率が年々高まっていることが全体の継続参加率の向上に貢献していることがわかった（表 6）。

次に JAGES データとマッチングできたサロン参加者（表中では参加経験者と表記）・ボランティア、及びそれ以外の JAGES データの調査対象者（表中では調査対象者と表記）の健康向上等について確認していく。4 件法での主観的健康観については、ボランティアにおいて（余りよくない、よくない）と答えた者の割合が若干高かった（表 7）。外出頻度のうち、週 4 回以上としている者の割合はボランティアにおいて最も高くなっているが（表 8）、転倒経験が無いとした割合はボランティアにおいて最も低くなっており（表 9）、転倒不安を抱える者の割合が 83.3%と 3 群中で最も高くなっていた（表 10）。

入れ歯・ブリッジ・インプラントの利用でもボランティアは利用している割合が高かった（表 11）。食べたいものがかんで食べられる割合はボランティアが相対的に低かった（表 12）。

健康診断を一年以内に受けている割合はボランティアが最も高く 70%を超えていたが、調査対象者では約 55%、参加経験者では 45%となっていた（表 13）。

1 ヶ月間の肉や魚の摂取状況においては、調査対象者において週 1 回未満の者が 2.1%（1.7%+0.4%；表 17）存在することがわかった。

表 21 から表 28 などの日常生活機能についての質問においては、ボランティアが高率でその機能を維持しているが、参加経験者が相対的に維持できていない場合があることもわかった（例えば、表 21、表 23、表 25、表 27）。また、物忘れ（表 34）や自分で電話番号を調べて書けていない（表 36）など認知機能が低下している者の割合がサロン参加者において高い可能性も示唆された。このことは友達の家を訪問する機会（表 32）、家族や友達の相談に乗る機会（表 33）、友人・知人と会う機会（表

53) を喪失させるかも知れない。

外部の組織に参加しない割合は多くの組織について調査対象者の方が最も低く、次いで参加経験者、ボランティアの順となっていた(表 39 から表 52)。

サポートの状況(表 54 から表 85)においては、サロン参加経験者が配偶者に頼れない状況(表 54、表 62、表 70、表 78)、調査対象者が配偶者に相対的に強く依存していること(表 54、表 62、表 70、表 78)、ボランティアが近隣や友人をサポート資源として活用できたり(表 58、表 59、表 75、表 78)、ボランティア参加者自身が近隣や友人のサポート資源となったりしている状況(表 67、表 68、表 83)が明らかになった。

生鮮食料品の入手方法(表 108 から表 115)については、サロン参加経験者は自分自身で調達できる割合が 54.6%とかなり低いこと(表 108)、それゆえ、調査対象者は家族に依存せざるを得ない(表 112)。他方、調査対象者やボランティア参加者は自分自身でも調達できるが(表 108)、家族に頼むこと(表 112)や宅配サービスを利用すること(表 115)などの複数のチャネルが利用可能になっている。

精神的な状況(表 117 から表 135)については、多くにおいてサロン参加経験者が精神的な課題を抱えている可能性を示唆しているかも知れない(表 117、表 118、表 120、表 124、表 120、表 126、表 128、表 129、表 130 から表 134)。

A 市の独自の質問のひとつとして、介護が必要になった場合に施設入所を希望するか、在宅介護のどちらを希望するか、という設問がある(表 137)。サロン参加経験者、調査対象者ともにほぼ半数ずつがそれぞれの選択肢を希望しているが、ボランティアについては施設入所を希望する割合が非常に高かった。

D. 考察および E. 結論

本稿では今回 JAGES 調査に初めて参加した A 市の JAGES データと同市の高齢者サロン参加者、

ボランティア参加者のデータから、サロン参加者、ボランティア参加者、その他の JAGES 調査参加高齢者の健康状態等について記述的な分析を行った。サロン参加者、ボランティア参加者のうち、JAGES データと接続できた対象が少数であったため、分析結果が各群の代表性を持った性質を表していると捉えることには慎重にならざるを得ない。それゆえ、考察についても結果の解釈というよりも同市のサロンの果たしている機能の検証に向けて、という形で仮説を提示する形とすべきであろう。

参加経験者についてはいえば、表 21、表 23、表 25、表 27、などのようにサロンに参加していないの方がサロン参加者よりも日常生活機能が維持されている場合があるが、これを以てサロンの機能について判断を行ってはいけない。その大きな理由は今回の JAGES 調査は A 市においては最初の参加の機会であり、その意味では同市の高齢者についての横断面調査に過ぎないからである。このため、今後サロン事業の有効性を検証しようとするならば、サロン事業の目的に応じて健康などの指標を継続的に測定し、分析結果を活用していくことが重要である。今回の調査参加をきっかけに継続的に JAGES の調査を採り入れていくことは同一個人についての経年比較を可能にするため、有効な方法であると考えられる。

他方で、サロン参加者に日常生活機能が低い者が相対的に多いことは A 市の高齢者サロン施策が成功している可能性を示唆するかも知れない。日常生活機能に不安を抱えている高齢者をサロンに導くことにより、機能維持の機会が保障されるかも知れないためである。もちろん、これは今後の経年的観察の結果を待たねばならないが、サロンに参加することにより孤立して機能が低下していくリスクを減少させているかも知れない。いずれにせよ、成功か否か、は施策の意図による。日常生活機能に不安を抱えている者の機能を維持しようとしているのか、逆に日常生活機能に不安の無い者を集めてその機能を高く維持しようとしているの

かで判断はわかるであろう。

A 市のサロンが日常生活機能に不安を抱えている者の機能を維持しようとしているのであれば、サロン参加経験者の多くが精神的な課題を抱えている事実（表 117 から表 135 のうち上で指摘した表の結果）に目を向けるべきであろう。

そして、サロンが効果的に運営されるためには、ボランティア参加者の背景についても検討する方が好ましいであろう。サロンにおいて提供される「もの」は利用者のニーズによるだけでなく、サロンにおける利用者とボランティアの相互の関係性によって生み出されると考えられるためである。

ボランティアにおいては、外出頻度の高さ、転倒経験、転倒不安について興味深い結果が得られていた。外出頻度が高い故に転倒経験のある者が多いのか、転倒経験に基づく転倒不安を克服するためにボランティア参加などを通じて外出頻度を高めているのか、明らかでは無い。それにはボランテ

ィアへの参加理由を踏まえた分析が必要である。また、家族との関係性はサポート資源としてお互いを利用できたり、ボランティア自身の買い物を家族に頼めたりできるなど良好な関係性にあると考えられる。他方で、介護が必要になった場合には施設入所を希望する割合が非常に高いなど家族に依存する意図が余りない側面も垣間見えており、ボランティア参加についての分析を行うことは学術的にも行政上も意味深いと考えられた。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

なし

H. 知的所有権の出願・登録状況

なし

表 1：サロンに参加したことがある者およびボランティアの性・年齢構成

		男性	女性	合計	男性参加比率
参加者	65歳以上75歳未満	4	10	14	28.6
	75歳以上85歳未満	5	33	38	13.2
	85歳以上	7	15	22	31.8
	合計	16	58	74	21.6
ボランティア	65歳未満	1	11	12	8.3
	65歳以上75歳未満	1	15	16	6.3
	75歳以上85歳未満	5	7	12	41.7
	合計	7	33	40	17.5
合計	65歳未満	1	11	12	8.3
	65歳以上75歳未満	5	25	30	16.7
	75歳以上85歳未満	10	40	50	20.0
	85歳以上	7	15	22	31.8
	合計	23	91	114	20.2

表 2：サロンに参加したことがある者およびボランティアの性・年齢構成

		男性	女性	合計	男性参加比率
参加者	65歳以上75歳未満	4	7	11	36.4
	75歳以上85歳未満	4	24	28	14.3
	85歳以上	3	6	9	33.3
	合計	11	37	48	22.9
ボランティア	65歳未満	1	11	12	8.3
	65歳以上75歳未満	1	15	16	6.3
	75歳以上85歳未満	5	7	12	41.7
	合計	7	33	40	17.5
合計	65歳未満	1	11	12	8.3
	65歳以上75歳未満	5	22	27	18.5
	75歳以上85歳未満	9	31	40	22.5
	85歳以上	3	6	9	33.3
	合計	18	70	88	20.5

表 3：年度別・性別サロン参加者

	男性	女性	合計
平成22年	4	13	17
平成23年	2	24	26
平成24年	5	34	39
平成25年	11	41	52
合計	23	91	114

表 4：年度別・性別継続参加率

継続参加率	平成22年から 平成23年	平成23年から 平成24年	平成24年から 平成25年
男性	25	0	100
女性	38.46	62.5	82.76
合計	35.29	57.69	85.29

表 5：年度別・脱落・参加継続別平均年齢

平均年齢	平成22年から 平成23年	平成23年から 平成24年	平成24年から 平成25年
脱落	82.3	85.4	80.0
継続参加	86.2	80.9	79.2
合計	35.29	57.69	85.29

表 6：年度別・地区別・参加継続率

平均年齢	平成22年から 平成23年	平成23年から 平成24年	平成24年から 平成25年
M1地区	100	80	85.71
M2地区	0	100	100
M3地区	n.a.	n.a.	n.a.
M4地区	20	42.86	100
M5地区	33.33	54.55	80

表 7：属性別主観的健康観の状況

実数	調査対象者	ボランティア	参加経験者
とてもよい	414	2	0
まあよい	2619	3	8
あまりよくない	662	2	1
よくない	126	0	1
合計	3821	7	10
比率 (%)	調査対象者	ボランティア	参加経験者
とてもよい	10.8	28.6	0.0
まあよい	68.5	42.9	80.0
あまりよくない	17.3	28.6	10.0
よくない	3.3	0.0	10.0
合計	100.0	100.0	100.0

表 8：属性別外出頻度の状況

実数	調査対象者	ボランティア	参加経験者
週に4回以上	2938	7	9
週2～3回	657	0	0
週1回	159	0	1
月1～3回	130	0	0
年に数回	16	0	0
していない	37	0	1
合計	3937	7	11
比率 (%)	調査対象者	ボランティア	参加経験者
週に4回以上	74.6	100.0	81.8
週2～3回	16.7	0.0	0.0
週1回	4.0	0.0	9.1
月1～3回	3.3	0.0	0.0
年に数回	0.4	0.0	0.0
していない	0.9	0.0	9.1
合計	100.0	100.0	100.0

表 9：属性別転倒経験の状況

実数	調査対象者	ボランティア	参加経験者
何度もある	301	0	1
1度ある	836	3	1
ない	2794	4	9
合計	3931	7	11
比率 (%)	調査対象者	ボランティア	参加経験者
何度もある	7.7	0.0	9.1
1度ある	21.3	42.9	9.1
ない	71.1	57.1	81.8
合計	100.0	100.0	100.0

表 10：属性別転倒への不安の状況

実数	調査対象者	ボランティア	参加経験者
はい	1610	5	6
いいえ	2259	1	5
合計	3869	6	11
比率 (%)	調査対象者	ボランティア	参加経験者
はい	41.6	83.3	54.6
いいえ	58.4	16.7	45.5
合計	100.0	100.0	100.0

表 11：属性別入れ歯、ブリッジ、インプラントの状況

実数	調査対象者	ボランティア	参加経験者
使っていない	1657	1	4
上のアゴだけ利用	454	1	2
下のアゴだけ利用	381	1	1
上下両方のアゴで利用	1139	4	3
合計	3631	7	10
比率 (%)	調査対象者	ボランティア	参加経験者
使っていない	45.6	14.3	40.0
上のアゴだけ利用	12.5	14.3	20.0
下のアゴだけ利用	10.5	14.3	10.0
上下両方のアゴで利用	31.4	57.1	30.0
合計	100.0	100.0	100.0

表 12：属性別硬いものを食べられる状況

実数	調査対象者	ボランティア	参加経験者
どんなものでも、食べたいものが噛んで食べられる	1332	2	5
噛みにくいものもあるが、たいていのものは食べられる	2250	5	6
あまり噛めないで、食べ物が限られている	316	0	0
ほとんど噛めない	22	0	0
全く噛めず、流動食を食べている	2	0	0
合計	3922	7	11
比率 (%)	調査対象者	ボランティア	参加経験者
どんなものでも、食べたいものが噛んで食べられる	34.0	28.6	45.5
噛みにくいものもあるが、たいていのものは食べられる	57.4	71.4	54.6
あまり噛めないで、食べ物が限られている	8.1	0.0	0.0
ほとんど噛めない	0.6	0.0	0.0
全く噛めず、流動食を食べている	0.1	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0

表 13：属性別健診や人間ドックの受診状況

実数	調査対象者	ボランティア	参加経験者
1年以内に受けた	2126	5	5
2～3年以内に受けた	463	1	1
4年以上前に受けた	431	0	1
受けていない	805	1	4
合計	3825	7	11
比率 (%)	調査対象者	ボランティア	参加経験者
1年以内に受けた	55.6	71.4	45.5
2～3年以内に受けた	12.1	14.3	9.1
4年以上前に受けた	11.3	0.0	9.1
受けていない	21.1	14.3	36.4
合計	100.0	100.0	100.0

表 14：属性別半年前に比べて固いものが食べにくくなったかの状況

実数	調査対象者	ボランティア	参加経験者
はい	1145	2	3
いいえ	2757	5	8
合計	3902	7	11
比率 (%)	調査対象者	ボランティア	参加経験者
はい	29.3	28.6	27.3
いいえ	70.7	71.4	72.7
合計	100.0	100.0	100.0

表 15：属性別お茶や汁物などでむせることがあるかの状況

実数	調査対象者	ボランティア	参加経験者
はい	877	2	3
いいえ	3033	5	8
合計	3910	7	11
比率 (%)	調査対象者	ボランティア	参加経験者
はい	22.4	28.6	27.3
いいえ	77.6	71.4	72.7
合計	100.0	100.0	100.0

表 16：属性別口の渇きが気になるかの状況

実数	調査対象者	ボランティア	参加経験者
はい	926	1	3
いいえ	2968	6	8
合計	3894	7	11
比率 (%)	調査対象者	ボランティア	参加経験者
はい	23.8	14.3	27.3
いいえ	76.2	85.7	72.7
合計	100.0	100.0	100.0

表 17：属性別1か月の肉や魚の摂取状況

実数	調査対象者	ボランティア	参加経験者
毎日2回以上	253	0	1
毎日1回	1392	4	4
週4～6回	946	2	3
週2～3回	1034	1	3
週1回	194	0	0
週1回未満	68	0	0
食べなかった	17	0	0
合計	3904	7	11
比率 (%)	調査対象者	ボランティア	参加経験者
毎日2回以上	6.5	0.0	9.1
毎日1回	35.7	57.1	36.4
週4～6回	24.2	28.6	27.3
週2～3回	26.5	14.3	27.3
週1回	5.0	0.0	0.0
週1回未満	1.7	0.0	0.0
食べなかった	0.4	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0

表 18：属性別 1 か月の間の野菜や果物の摂取状況

実数	調査対象者	ボランティア	参加経験者
毎日2回以上	1468	2	6
毎日1回	1530	4	3
週4～6回	508	1	1
週2～3回	342	0	0
週1回	58	0	1
週1回未満	24	0	0
食べなかった	8	0	0
合計	3938	7	11
比率 (%)	調査対象者	ボランティア	参加経験者
毎日2回以上	37.3	28.6	54.6
毎日1回	38.9	57.1	27.3
週4～6回	12.9	14.3	9.1
週2～3回	8.7	0.0	0.0
週1回	1.5	0.0	9.1
週1回未満	0.6	0.0	0.0
食べなかった	0.2	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0

表 19：属性別飲酒の状況

実数	調査対象者	ボランティア	参加経験者
飲む	1184	1	2
やめた	207	1	0
飲まない	2540	5	9
合計	3931	7	11
比率 (%)	調査対象者	ボランティア	参加経験者
飲む	30.1	14.3	18.2
やめた	5.3	14.3	0.0
飲まない	64.6	71.4	81.8
合計	100.0	100.0	100.0

表 20：属性別喫煙の状況

実数	調査対象者	ボランティア	参加経験者
吸う	389	0	0
やめた	538	1	3
吸わない	2995	6	8
合計	3922	7	11
比率 (%)	調査対象者	ボランティア	参加経験者
吸う	9.9	0.0	0.0
やめた	13.7	14.3	27.3
吸わない	76.4	85.7	72.7
合計	100.0	100.0	100.0

表 21：属性別階段を手すりや壁をつたわずに昇れるかの状況

実数	調査対象者	ボランティア	参加経験者
はい	2120	5	5
いいえ	1797	2	6
合計	3917	7	11
比率 (%)	調査対象者	ボランティア	参加経験者
はい	54.1	71.4	45.5
いいえ	45.9	28.6	54.6
合計	100.0	100.0	100.0

表 22：属性別椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上げられるかの状況

実数	調査対象者	ボランティア	参加経験者
はい	3078	6	9
いいえ	850	1	2
合計	3928	7	11
比率 (%)	調査対象者	ボランティア	参加経験者
はい	78.4	85.7	81.8
いいえ	21.6	14.3	18.2
合計	100.0	100.0	100.0

表 23：属性別バスや電車を使って1人で外出できるかの状況

実数	調査対象者	ボランティア	参加経験者
はい	3381	7	6
いいえ	520	0	3
合計	3901	7	9
比率 (%)	調査対象者	ボランティア	参加経験者
はい	86.7	100.0	66.7
いいえ	13.3	0.0	33.3
合計	100.0	100.0	100.0

表 24：属性別日用品の買い物ができるかの状況

実数	調査対象者	ボランティア	参加経験者
はい	3764	7	9
いいえ	188	0	2
合計	3952	7	11
比率 (%)	調査対象者	ボランティア	参加経験者
はい	95.2	100.0	81.8
いいえ	4.8	0.0	18.2
合計	100.0	100.0	100.0

表 25：属性別自分で食事の用意ができるか

実数	調査対象者	ボランティア	参加経験者
はい	3458	7	7
いいえ	489	0	4
合計	3947	7	11
比率 (%)	調査対象者	ボランティア	参加経験者
はい	87.6	100.0	63.6
いいえ	12.4	0.0	36.4
合計	100.0	100.0	100.0

表 26：属性別請求書の支払いができるか

実数	調査対象者	ボランティア	参加経験者
はい	3805	7	8
いいえ	144	0	2
合計	3949	7	10
比率 (%)	調査対象者	ボランティア	参加経験者
はい	96.4	100.0	80.0
いいえ	3.7	0.0	20.0
合計	100.0	100.0	100.0

表 27：属性別銀行預金・郵便貯金の出し入れが自分でできるか。

実数	調査対象者	ボランティア	参加経験者
はい	3625	7	8
いいえ	327	0	3
合計	3952	7	11
比率 (%)	調査対象者	ボランティア	参加経験者
はい	91.7	100.0	72.7
いいえ	8.3	0.0	27.3
合計	100.0	100.0	100.0

表 28：属性別年金などの書類が書けるか

実数	調査対象者	ボランティア	参加経験者
はい	3648	7	9
いいえ	286	0	2
合計	3934	7	11
比率 (%)	調査対象者	ボランティア	参加経験者
はい	92.7	100.0	81.8
いいえ	7.3	0.0	18.2
合計	100.0	100.0	100.0

表 29：属性別新聞を読んでいるか

実数	調査対象者	ボランティア	参加経験者
はい	3547	7	10
いいえ	401	0	1
合計	3948	7	11
比率 (%)	調査対象者	ボランティア	参加経験者
はい	89.8	100.0	90.9
いいえ	10.2	0.0	9.1
合計	100.0	100.0	100.0

表 30：属性別本や雑誌を読んでいるか。

実数	調査対象者	ボランティア	参加経験者
はい	3016	6	8
いいえ	919	1	3
合計	3935	7	11
比率 (%)	調査対象者	ボランティア	参加経験者
はい	76.7	85.7	72.7
いいえ	23.4	14.3	27.3
合計	100.0	100.0	100.0

表 31：属性別健康についての記事や番組に関心があるか。

実数	調査対象者	ボランティア	参加経験者
はい	3593	7	10
いいえ	354	0	1
合計	3947	7	11
比率 (%)	調査対象者	ボランティア	参加経験者
はい	91.0	100.0	90.9
いいえ	9.0	0.0	9.1
合計	100.0	100.0	100.0

表 32：属性別友達の家を訪ねることがあるか

実数	調査対象者	ボランティア	参加経験者
はい	2609	6	5
いいえ	1326	1	6
合計	3935	7	11
比率 (%)	調査対象者	ボランティア	参加経験者
はい	66.3	85.7	45.5
いいえ	33.7	14.3	54.6
合計	100.0	100.0	100.0

表 33：属性別家族や友だちの相談にのることがあるか

実数	調査対象者	ボランティア	参加経験者
はい	3182	6	5
いいえ	738	1	6
合計	3920	7	11
比率 (%)	調査対象者	ボランティア	参加経験者
はい	81.2	85.7	45.5
いいえ	18.8	14.3	54.6
合計	100.0	100.0	100.0

表 34：属性別周りの人から「いつも同じ事を聞く」など物忘れがあるといわれる

実数	調査対象者	ボランティア	参加経験者
はい	663	1	5
いいえ	3257	6	6
合計	3920	7	11
比率 (%)	調査対象者	ボランティア	参加経験者
はい	16.9	14.3	45.5
いいえ	83.1	85.7	54.6
合計	100.0	100.0	100.0

表 35：属性別自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているか

実数	調査対象者	ボランティア	参加経験者
はい	3714	7	9
いいえ	245	0	2
合計	3959	7	11
比率 (%)	調査対象者	ボランティア	参加経験者
はい	93.8	100.0	81.8
いいえ	6.2	0.0	18.2
合計	100.0	100.0	100.0

表 36：属性別今日が何月何日かわからない時があるか

実数	調査対象者	ボランティア	参加経験者
はい	1036	2	4
いいえ	2905	5	7
合計	3941	7	11
比率 (%)	調査対象者	ボランティア	参加経験者
はい	26.3	28.6	36.4
いいえ	73.7	71.4	63.6
合計	100.0	100.0	100.0

表 38：属性別趣味はあるか

実数	調査対象者	ボランティア	参加経験者
はい	3332	7	8
いいえ	536	0	2
合計	3868	7	10
比率 (%)	調査対象者	ボランティア	参加経験者
はい	86.1	100.0	80.0
いいえ	13.9	0.0	20.0
合計	100.0	100.0	100.0

表 39：属性別どのくらいの頻度で参加しているか：ボランティアのグループ

実数	調査対象者	ボランティア	参加経験者
週4回以上	33	0	0
週2～3回	52	1	1
週1回	68	1	1
月1～3回	206	4	0
年に数回	334	0	0
参加していない	2517	1	6
合計	3210	7	8
比率 (%)	調査対象者	ボランティア	参加経験者
週4回以上	1.0	0.0	0.0
週2～3回	1.6	14.3	12.5
週1回	2.1	14.3	12.5
月1～3回	6.4	57.1	0.0
年に数回	10.4	0.0	0.0
参加していない	78.4	14.3	75.0
合計	100.0	100.0	100.0

表 40：属性別どのくらいの頻度で参加しているか：スポーツ関係のグループやクラブ

実数	調査対象者	ボランティア	参加経験者
週4回以上	134	0	0
週2～3回	204	1	2
週1回	167	2	1
月1～3回	162	1	0
年に数回	159	1	0
参加していない	2384	2	5
合計	3210	7	8
比率 (%)	調査対象者	ボランティア	参加経験者
週4回以上	4.2	0.0	0.0
週2～3回	6.4	14.3	25.0
週1回	5.2	28.6	12.5
月1～3回	5.1	14.3	0.0
年に数回	5.0	14.3	0.0
参加していない	74.3	28.6	62.5
合計	100.0	100.0	100.0

表 41：属性別どのくらいの頻度で参加しているか：趣味関係のグループ

実数	調査対象者	ボランティア	参加経験者
週4回以上	108	0	0
週2～3回	210	0	1
週1回	287	1	1
月1～3回	442	3	0
年に数回	265	0	0
参加していない	1989	2	5
合計	3301	6	7
比率 (%)	調査対象者	ボランティア	参加経験者
週4回以上	3.3	0.0	0.0
週2～3回	6.4	0.0	14.3
週1回	8.7	16.7	14.3
月1～3回	13.4	50.0	0.0
年に数回	8.0	0.0	0.0
参加していない	60.3	33.3	71.4
合計	100.0	100.0	100.0

表 42：属性別どのくらいの頻度で参加しているか：老人クラブ

実数	調査対象者	ボランティア	参加経験者
週4回以上	7	0	0
週2～3回	22	1	1
週1回	35	0	0
月1～3回	205	1	0
年に数回	366	0	2
参加していない	2637	4	5
合計	3272	6	8
比率 (%)	調査対象者	ボランティア	参加経験者
週4回以上	0.2	0.0	0.0
週2～3回	0.7	16.7	12.5
週1回	1.1	0.0	0.0
月1～3回	6.3	16.7	0.0
年に数回	11.2	0.0	25.0
参加していない	80.6	66.7	62.5
合計	100.0	100.0	100.0

表 43：属性別どのくらいの頻度で参加しているか：町内会・自治会

実数	調査対象者	ボランティア	参加経験者
週4回以上	17	0	0
週2～3回	24	0	0
週1回	40	0	1
月1～3回	401	2	2
年に数回	1429	1	1
参加していない	1411	3	4
合計	3322	6	8
比率 (%)	調査対象者	ボランティア	参加経験者
週4回以上	0.5	0.0	0.0
週2～3回	0.7	0.0	0.0
週1回	1.2	0.0	12.5
月1～3回	12.1	33.3	25.0
年に数回	43.0	16.7	12.5
参加していない	42.5	50.0	50.0
合計	100.0	100.0	100.0

表 44：属性別どのくらいの頻度で参加しているか：学習・教養サークル

実数	調査対象者	ボランティア	参加経験者
週4回以上	12	0	0
週2～3回	37	0	0
週1回	73	0	0
月1～3回	166	3	3
年に数回	193	2	0
参加していない	2745	1	6
合計	3226	6	9
比率 (%)	調査対象者	ボランティア	参加経験者
週4回以上	0.4	0.0	0.0
週2～3回	1.2	0.0	0.0
週1回	2.3	0.0	0.0
月1～3回	5.2	50.0	33.3
年に数回	6.0	33.3	0.0
参加していない	85.1	16.7	66.7
合計	100.0	100.0	100.0

表 45：属性別どのくらいの頻度で参加しているか：介護予防・健康づくりの活動

実数	調査対象者	ボランティア	参加経験者
週4回以上	44	0	1
週2～3回	78	0	1
週1回	71	1	2
月1～3回	165	2	1
年に数回	236	2	0
参加していない	2660	2	3
合計	3254	7	8
比率 (%)	調査対象者	ボランティア	参加経験者
週4回以上	1.4	0.0	12.5
週2～3回	2.4	0.0	12.5
週1回	2.2	14.3	25.0
月1～3回	5.1	28.6	12.5
年に数回	7.3	28.6	0.0
参加していない	81.8	28.6	37.5
合計	100.0	100.0	100.0

表 46：属性別どのくらいの頻度で参加しているか：特技や経験を他者に伝える活動

実数	調査対象者	ボランティア	参加経験者
週4回以上	32	0	0
週2～3回	23	0	0
週1回	49	0	0
月1～3回	79	1	0
年に数回	180	1	0
参加していない	2856	4	7
合計	3219	6	7
比率 (%)	調査対象者	ボランティア	参加経験者
週4回以上	1.0	0.0	0.0
週2～3回	0.7	0.0	0.0
週1回	1.5	0.0	0.0
月1～3回	2.5	16.7	0.0
年に数回	5.6	16.7	0.0
参加していない	88.7	66.7	100.0
合計	100.0	100.0	100.0

表 47：属性別どのくらいの頻度で参加しているか：地域行事（お祭り・盆踊りなど）

実数	調査対象者	ボランティア	参加経験者
週4回以上	2	0	0
週2～3回	8	0	0
週1回	7	0	0
月1～3回	44	1	0
年に数回	1053	4	4
参加していない	2151	1	4
合計	3265	6	8
比率 (%)	調査対象者	ボランティア	参加経験者
週4回以上	0.1	0.0	0.0
週2～3回	0.3	0.0	0.0
週1回	0.2	0.0	0.0
月1～3回	1.4	16.7	0.0
年に数回	32.3	66.7	50.0
参加していない	65.9	16.7	50.0
合計	100.0	100.0	100.0